

学生ドライブスタンプラリーコンテスト

「最優秀賞」受賞の企画案、3月から実現へ

宮城学院女子大学

昨年12月1日に「仙台・東北 学生ドライブスタンプラリーコンテスト2023」の審査会がCROSS B PLUS（仙台市）で開かれ、宮城学院女子大学（同）の現代ビジネス学部現代ビジネス学科・宮原育子教授のゼミナールに所属する2年次生のチーム「東北いいとこめぐりチーム」が「最優秀賞」を受賞した。

これは、仙台市がドライブ観光の推進による東北の交流人口の拡大を目的として、初めて開催した学生を対象とするドライブスタンプラリーの企画提案コンテストだ。同市と一般社団法人日本自動車連盟（JAF、本部東京・港区）の宮城支部（事務所・仙台市）、一般社団法人東北観光推進機構（本部・同）が共催する。その目的は①東北のゲートウェイ機能を有し、東北内外から多くの学生が集まる仙台市において、産学官の連携により、学生が観光を通じた東北の地域振興について考え、提案するコンテストを開催することで、仙台・東北での活力の還流や地域貢献を図る

こと②ドライブ観光をピーアールすることで、仙台・東北の交流人口の拡大および観光を通じた地域の活性化を図ること——の2点となっている。

なお、企画における条件として①仙台市を出発地とし、スポット数が5カ所のスタンプラリー企画とすること②すべて東北のスポットとし、仙台市以外のスポットを一つ以上含むこと③テーマ性のある周遊企画とすること④スタンプラリーの参加ターゲットは、仙台市や東北に在住の者とし、年代や参加形態は自由に設定すること⑤スタンプラリーのクリア特典として、3,000円分相当および1,000円分相当の賞品をそれぞれ設定すること——などが設けられた。

12月1日の審査会では、事前に提出したパワーポイント資料をもとに、学生チームによる10分間のプレゼンテーション発表が行われた。同大の「東北いいとこめぐりチーム」は現代ビジネス学科2年次の佐藤梨音さん、



企画案が見事「最優秀賞」に輝いた2年次生ら

赤間夏希さん、田附真由さん、村上叶さん、八嶋穂乃歌さんの5人で構成される。佐藤さんたちが提案したのは、宮城県北と岩手県一関市の自然を感じられるスポットを組み込んだ一泊二日のドライブコースだ。「東北の自然満喫ドライブスタンプラリー」をテーマに据え、宮城県在住の家族連れをターゲットに設定。SHOBIAN CAFÉ（宮城県宮城郡松島町）や岩手サファリパーク（岩手県一関市）など、宮城県と岩手県の県境にスポットを集中させることで比較的移動の負担が少なく、子ども連れにオススメのルートとした。

このたび「最優秀賞」を受賞した佐藤さんらの提案は、実際に3月よりJAFのドライブスタンプラリー企画として実現される予定だ。スタンプラリーの詳細は、仙台市およびJAFのウェブサイトにて今後発信される。興味のある人は続報に注目して欲しい。